

なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう
天童中部小学校

がっきゅう
いちよう学級

R3. 9. 3

No. 18

「新たな気持ちでむかえる二学期」



夏休みが終わり、学校生活が始まって一週間程度経ちました。子ども達のご家庭での様子はいかがでしょうか？疲れた顔で帰ってくる日、学校でのできごとを楽しそうにお話する日、様々あると思います。子ども達がありのままに話すたくさんの言葉に耳を傾けてみてください。

今週は少し肌寒く、教室の中もいつもと比べて涼しかった日が多くありました。そんな一週間の水曜日のことです。子ども達同士で話をしている時に、A君が「そう言えば寒くなってきたね、もう秋だね」B君が「もう一年終わるね、あと、四か月？くらいだね」なんて話をしていました。季節の変化を体で感じ、自分が過ごす一年間の流れも感じている言葉だと思いました。子どもたちは、そんな小さな変化を感じて、それを自分の普段の生活に関連付ける力を持っていること気付かされました。そして、大切にしなければいけない部分でもあると思いました。そんな会話の様子などから、二学期が始まったことで新たな気持ちを持って学校生活を送っているように見えます。「二学期はこんな自分になりたいな、そのためにはどんなめあてを持って生活したらいいだろう」と一生懸命考えることを大切にしてほしいです。一学期の頃に自分ができたことをさらに磨き上げたり、できなかったことに挑戦してみたり、やり方は様々です。自分の中のめあてをしっかりと持って二学期の生活を送ってほしいです。また、我々担任団もそのめあてを達成できるよう支援をしていきます。二学期もよろしく願いいたします。

花笠の練習を頑張っています

9月22日の全校花笠に向けて、いちようタイムの時間、一生懸命練習しています。低学年、中学年、高学年で違う踊りを踊るため、その学年同士で集まって練習しています。周りの友達や一つ上のお兄さんお姉さんの踊る姿を見て刺激を受けていました。子ども達は、交流学級の中で踊る時とまた違った表情見せてくれています。改めて、いちよう学級の学年を超えた活動ができることの良さを感じたところです。

